

SDGsの認知度と取組に関するアンケート調査結果



SDGs未来都市
～先人の起業家精神を学び、ワカモノがSDGsの考えを事業創出に繋げるまち～

令和7年9月
高 鍋 町

SDGsの認知度と取組に関するアンケート調査結果

1. 概要

SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困の解消や環境保全、平和の実現など、2030年までの達成を目指す世界共通の目標である。本調査は、町民のSDGsや「SDGs未来都市」選定に対する認知度や理解を把握するために実施した。今後は、本調査の結果をもとに、町民の意識の変化を継続して把握し、持続可能なまちづくりに向けた施策へとつなげていく。

2. 調査期間

令和7年8月18 日(月)～令和 7 年8月31日(日)

3. 調査方法

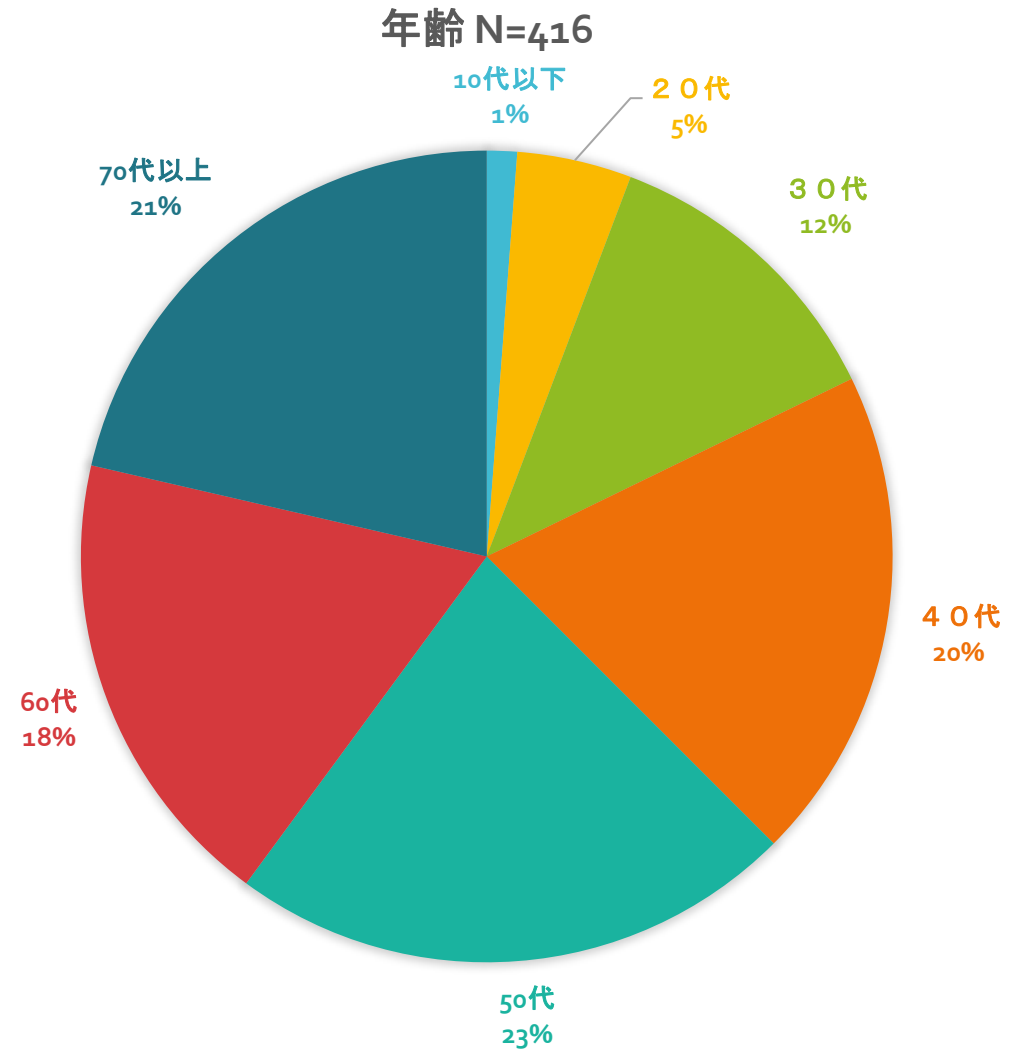
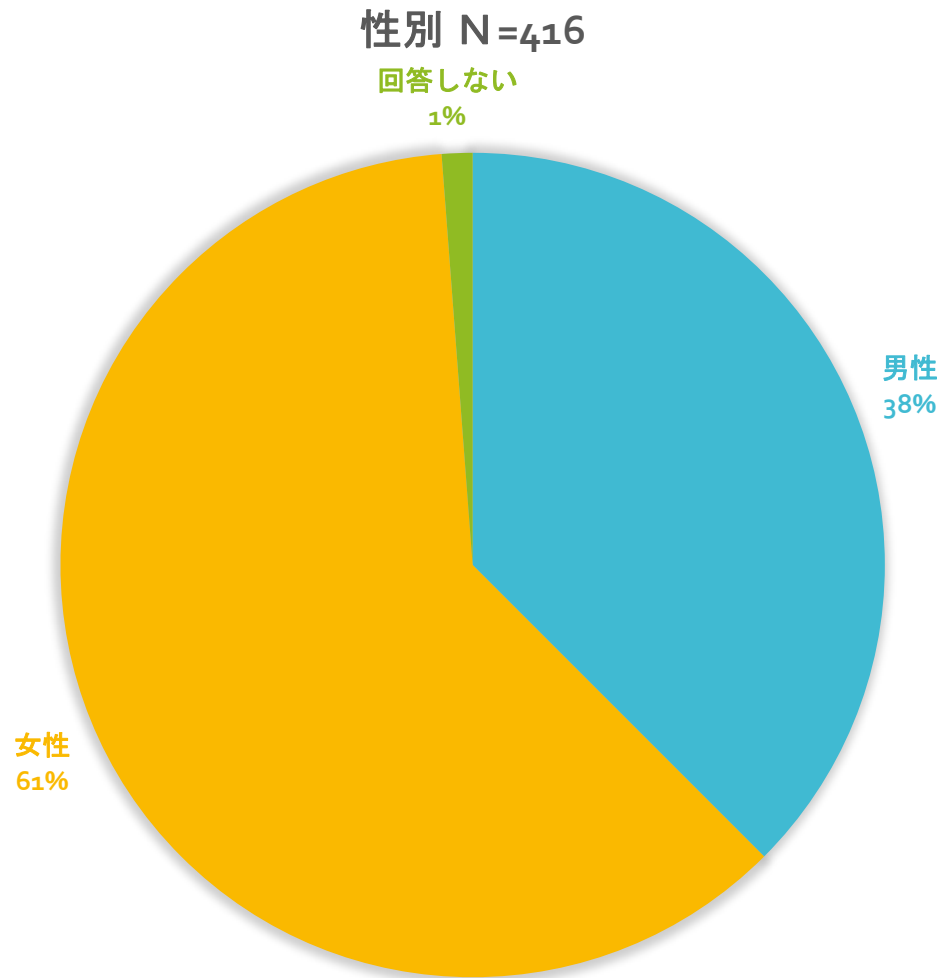
町の公式LINEアカウントを活用し、アンケートを実施

4. 回答者

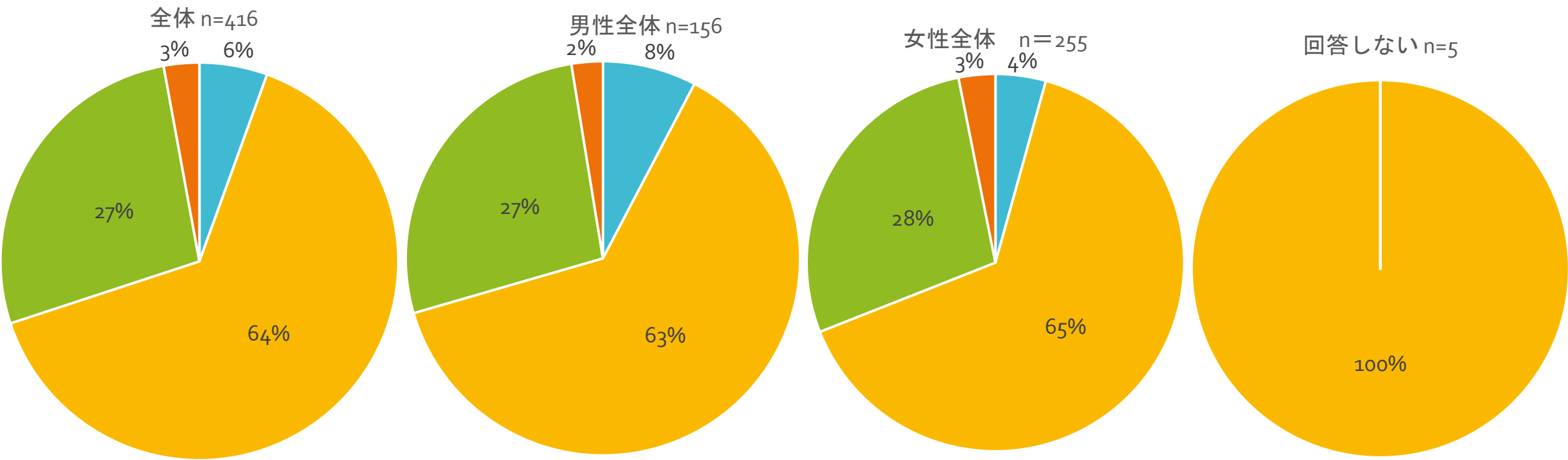
416名（男 156名 女 255名 回答しない 5名）

〈アンケート回答者の属性〉

回答者数 416名 男性 156名 女性 255名 回答しない 5名



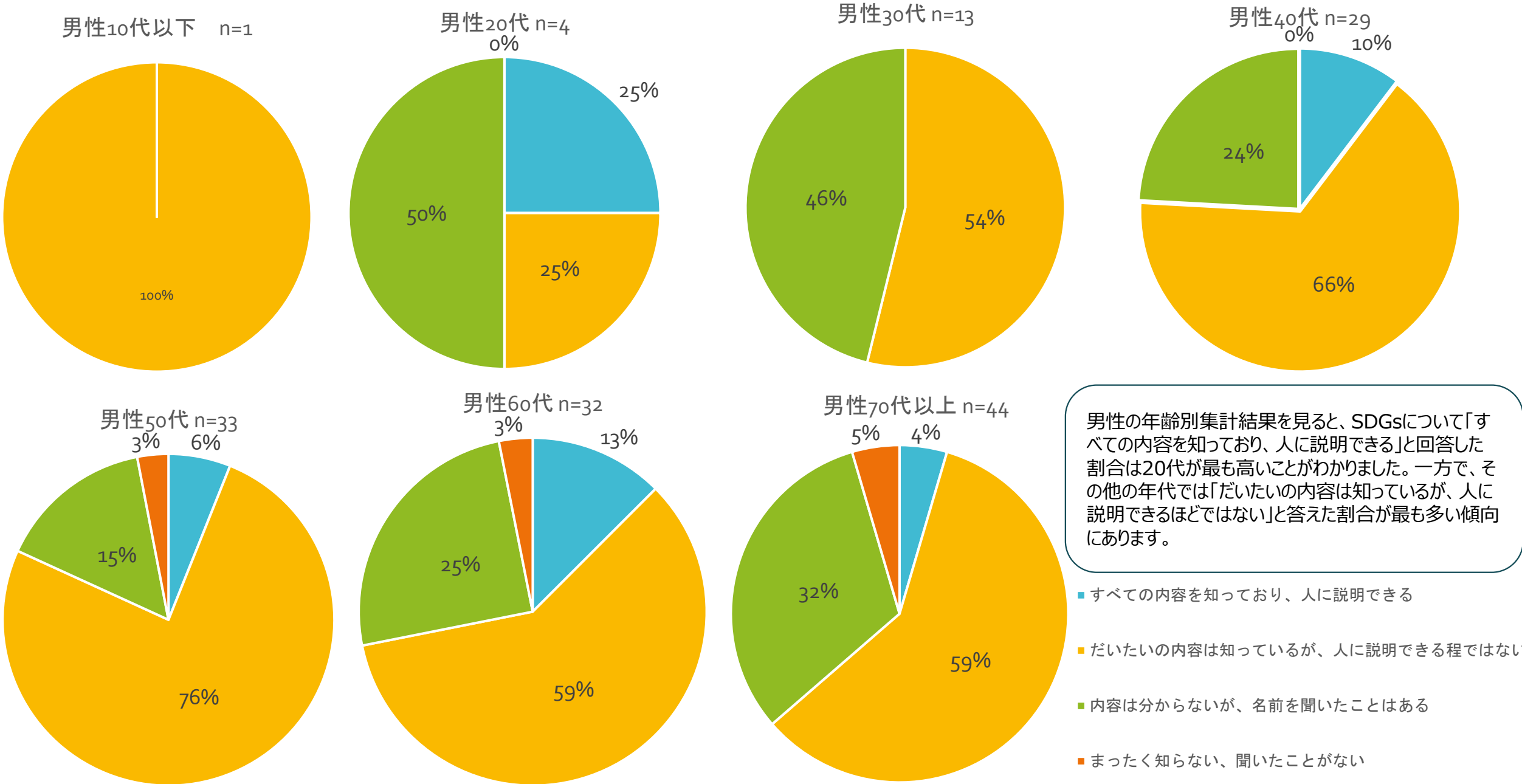
Q1.あなたは「SDGs」（持続可能な開発目標）について、どのくらい知っていますか。【全体集計結果】



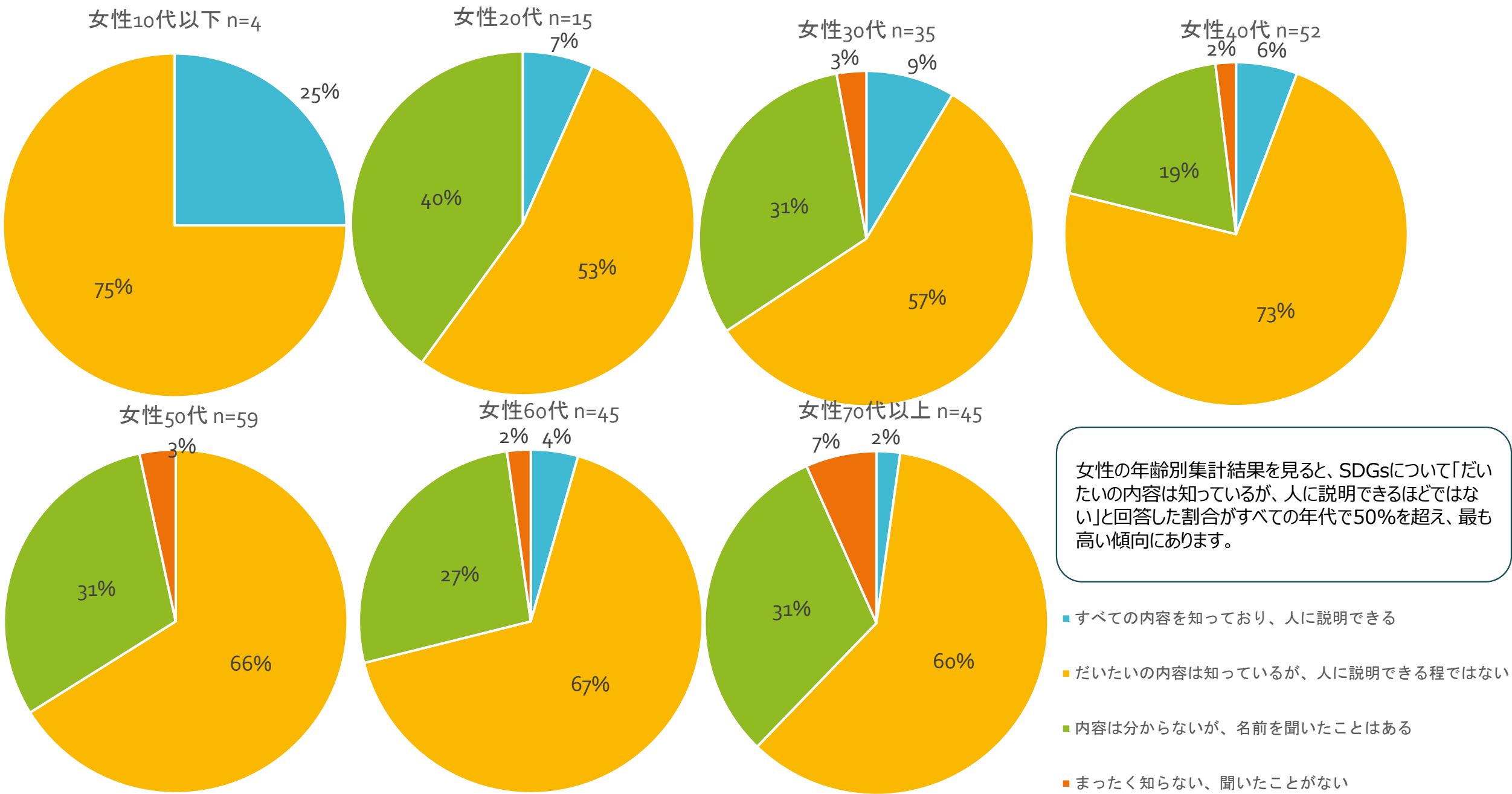
全体集計結果を見ると、SDGsについて「すべての内容を知っており、人に説明できる」と回答した割合は比較的少なく、「だいたいの内容は知っているが、人に説明できるほどではない」と答えた割合が最も高い傾向が見られます。これは、SDGsという言葉自体は一定程度社会に浸透しているものの、その具体的な内容までは十分に理解されていないことを示唆しています。

- すべての内容を知っており、人に説明できる
- だいたいの内容は知っているが、人に説明できる程ではない
- 内容は分からないが、名前を聞いたことはある
- まったく知らない、聞いたことがない

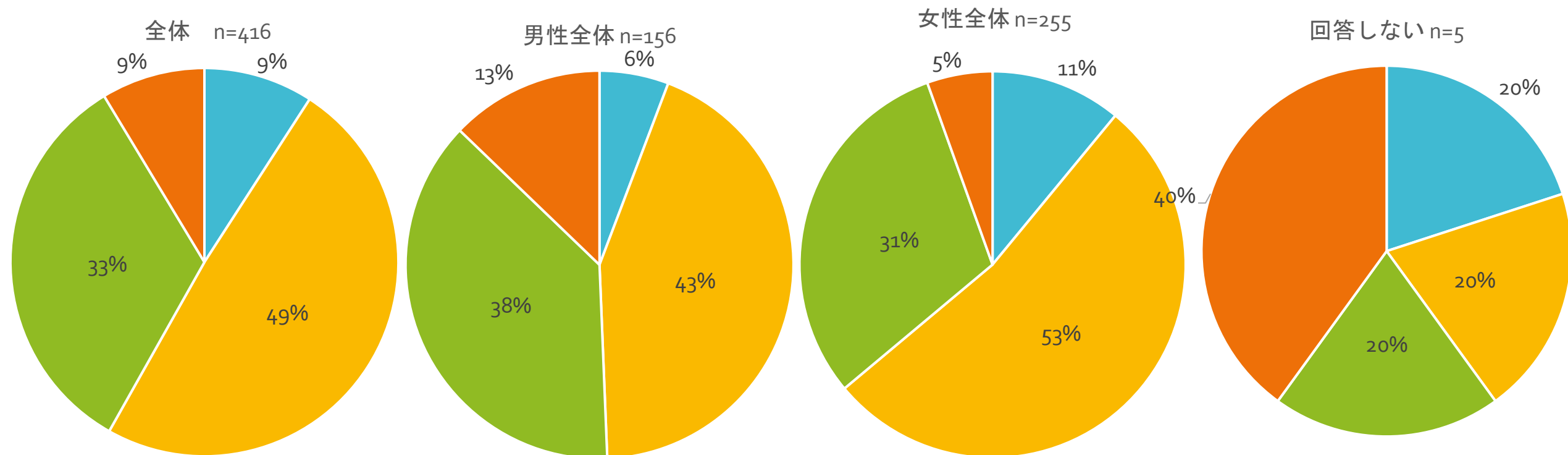
Q1.あなたは「SDGs」（持続可能な開発目標）について、どのくらい知っていますか。【男性年齢別集計結果】



Q1.あなたは「SDGs」（持続可能な開発目標）について、どのくらい知っていますか。【女性年齢別集計結果】



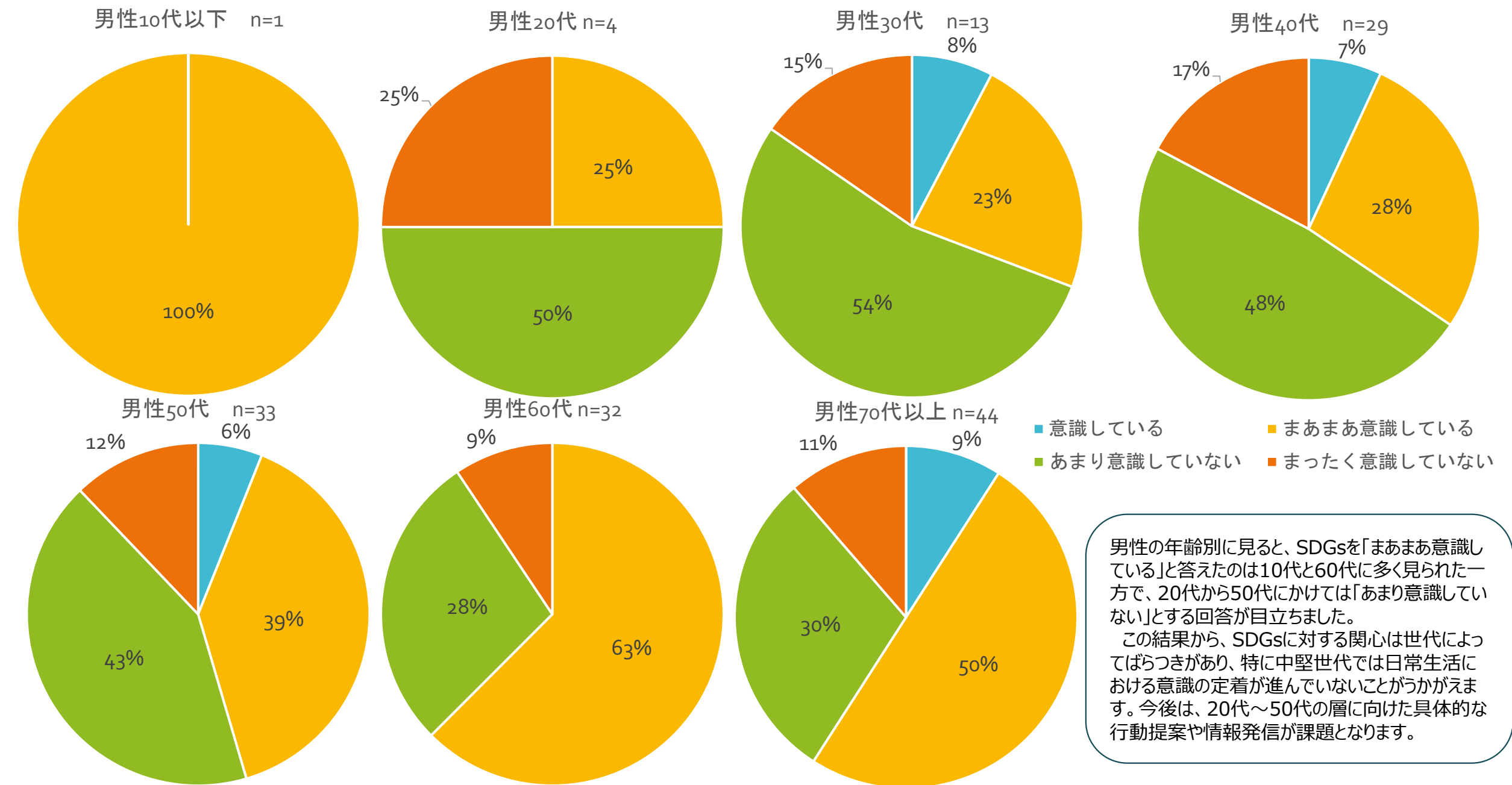
Q2.あなたは日常生活の中で「SDGs」の考え方を意識していますか。【全体集計結果】



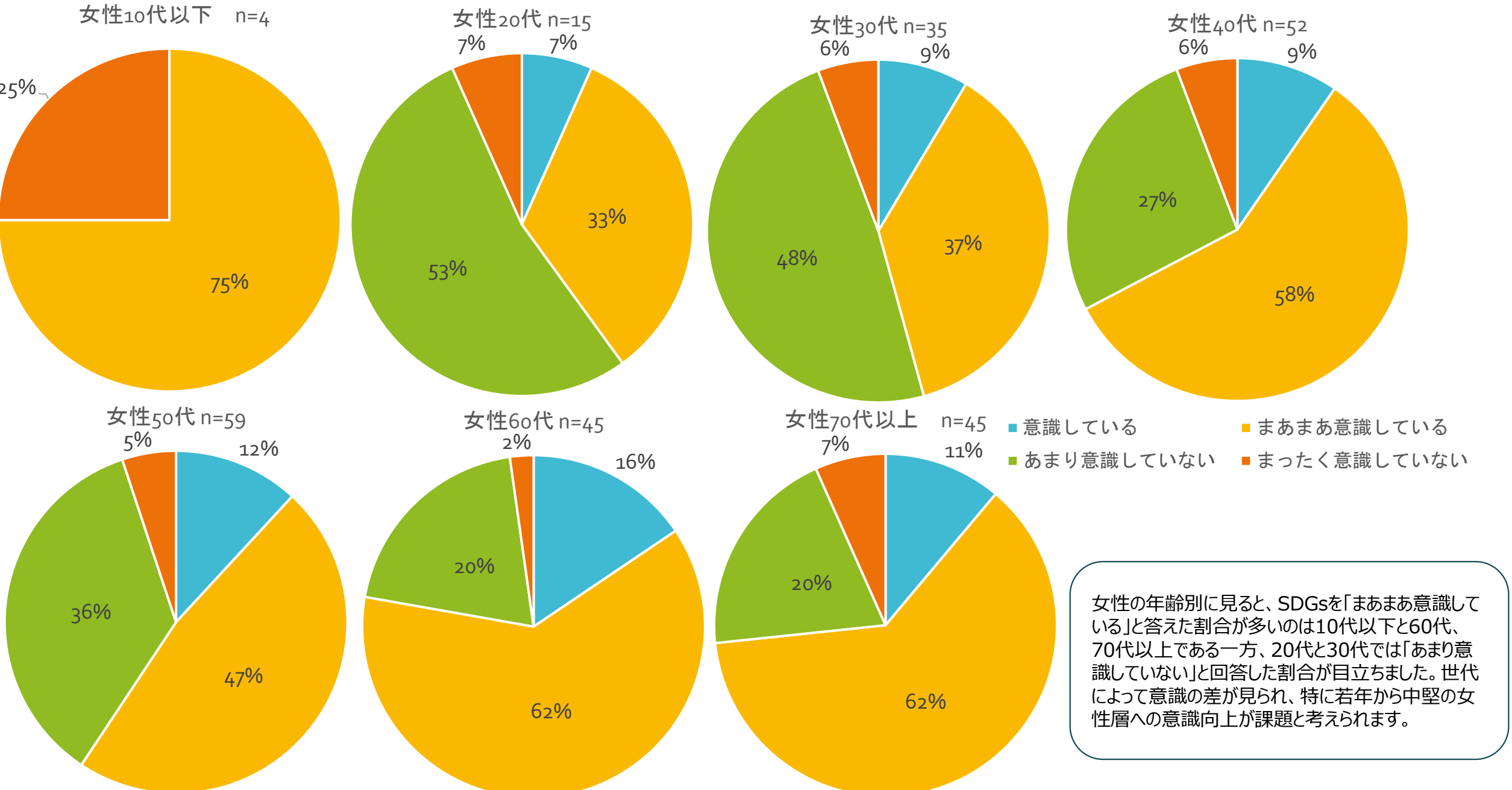
全体、男性全体、女性全体の結果において、最も多かった回答は「まあまあ意識している」であり、次いで「あまり意識していない」が多い傾向にありました。この結果から、SDGsに対して一定の関心は持たれているものの、日常生活で強く意識して行動している人はまだ少数であることがわかります。

- 意識している
- まあまあ意識している
- あまり意識していない
- まったく意識していない

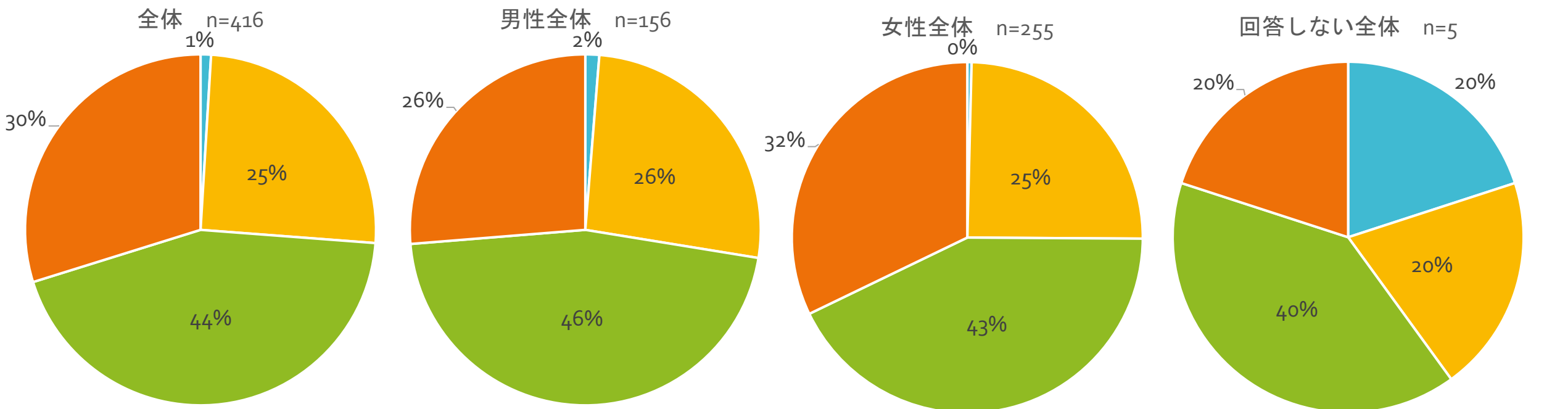
Q2.あなたは日常生活の中で「SDGs」の考え方を意識していますか。 【男性年齢別集計結果】



Q2.あなたは日常生活の中で「SDGs」の考え方を意識していますか。 【女性年齢別集計結果】



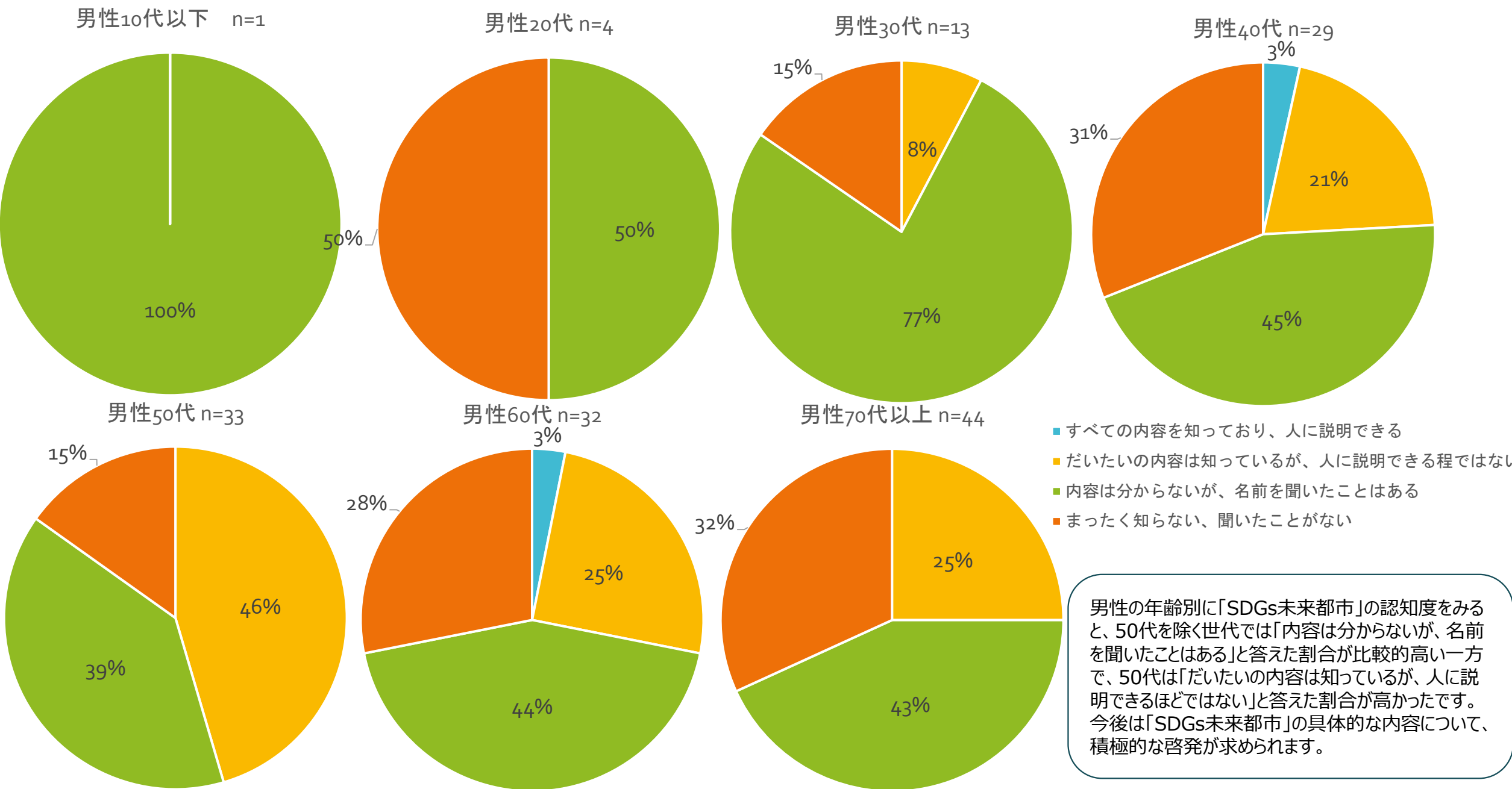
Q3.あなたは「SDGs未来都市」について、どのくらい知っていますか。【全体集計結果】



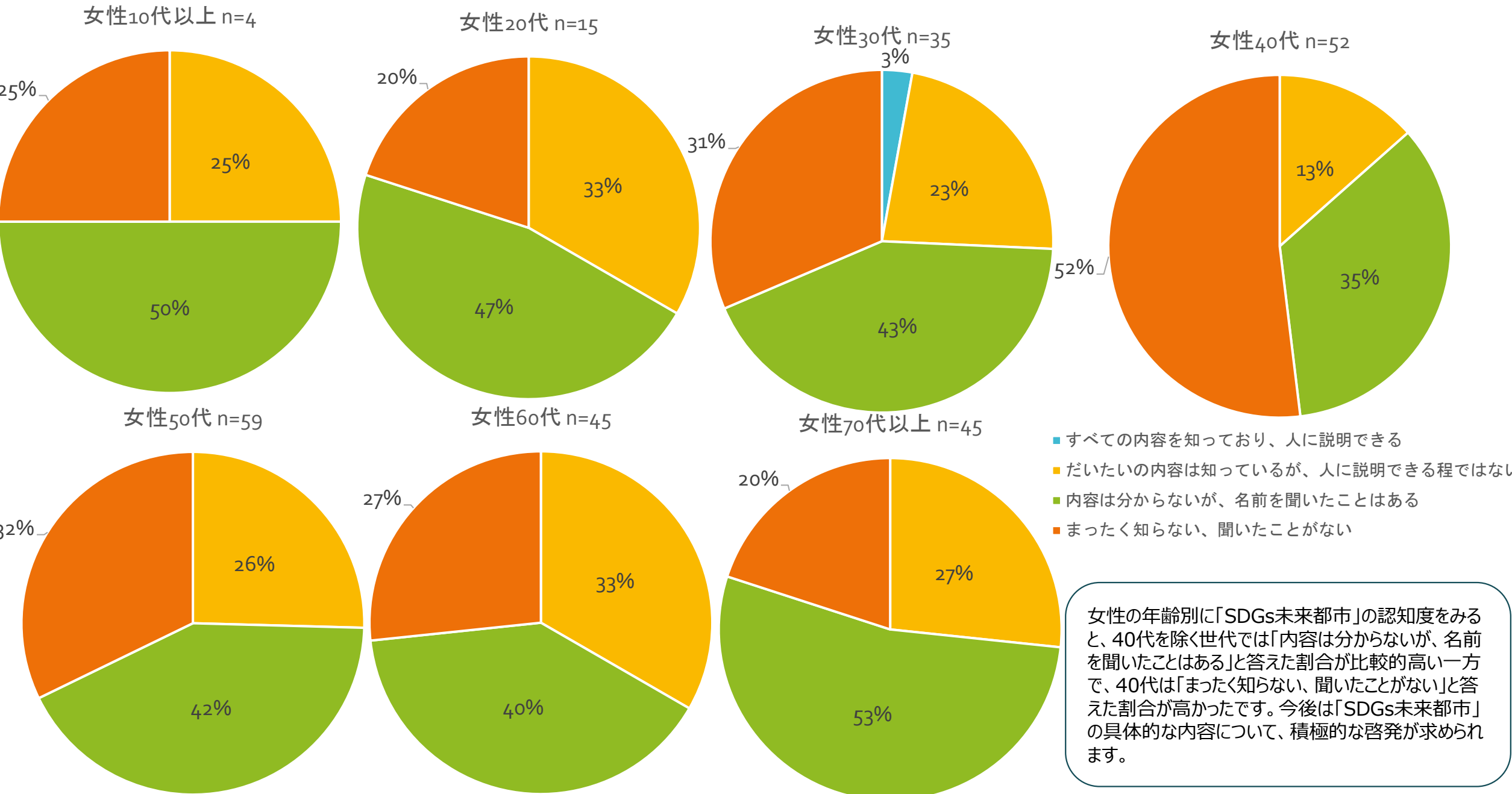
全体、男性全体、女性全体、そして回答しない全体の結果において、最も多かった回答は「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」であり、次いで「まったく知らない、聞いたことがない」という回答が多い傾向にありました。これらの結果から、今後は「SDGs未来都市」の具体的な内容について、積極的な啓発が求められます。

- すべての内容を知っており、人に説明できる
- だいたいの内容は知っているが、人に説明できる程ではない
- 内容は分からないが、名前を聞いたことはある
- まったく知らない、聞いたことがない

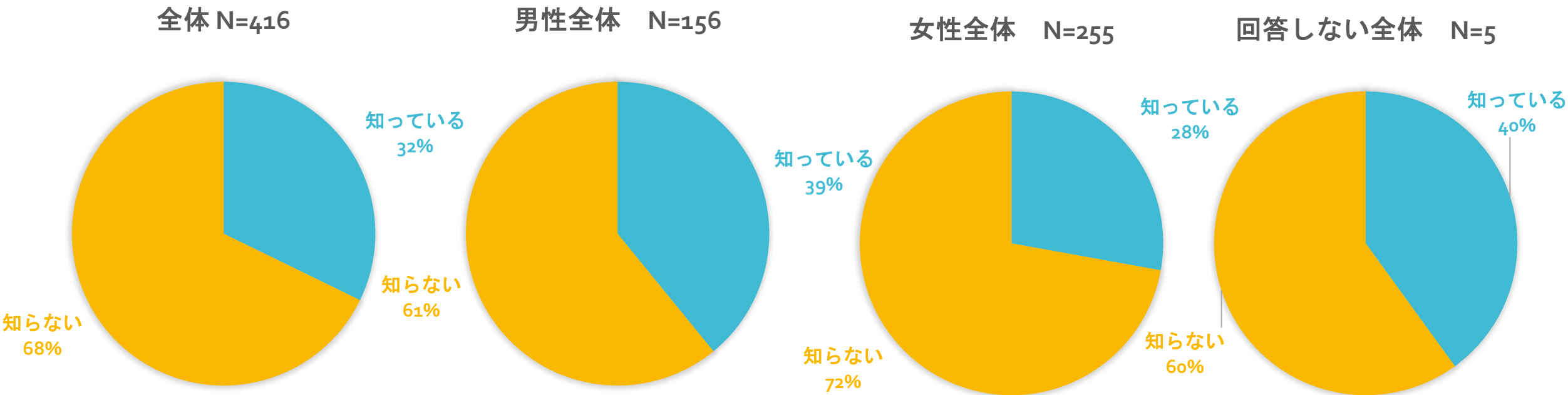
Q3.あなたは「SDGs未来都市」について、どのくらい知っていますか。 【男性年齢別集計結果】



Q3.あなたは「SDGs未来都市」について、どのくらい知っていますか。 【女性年齢別集計結果】

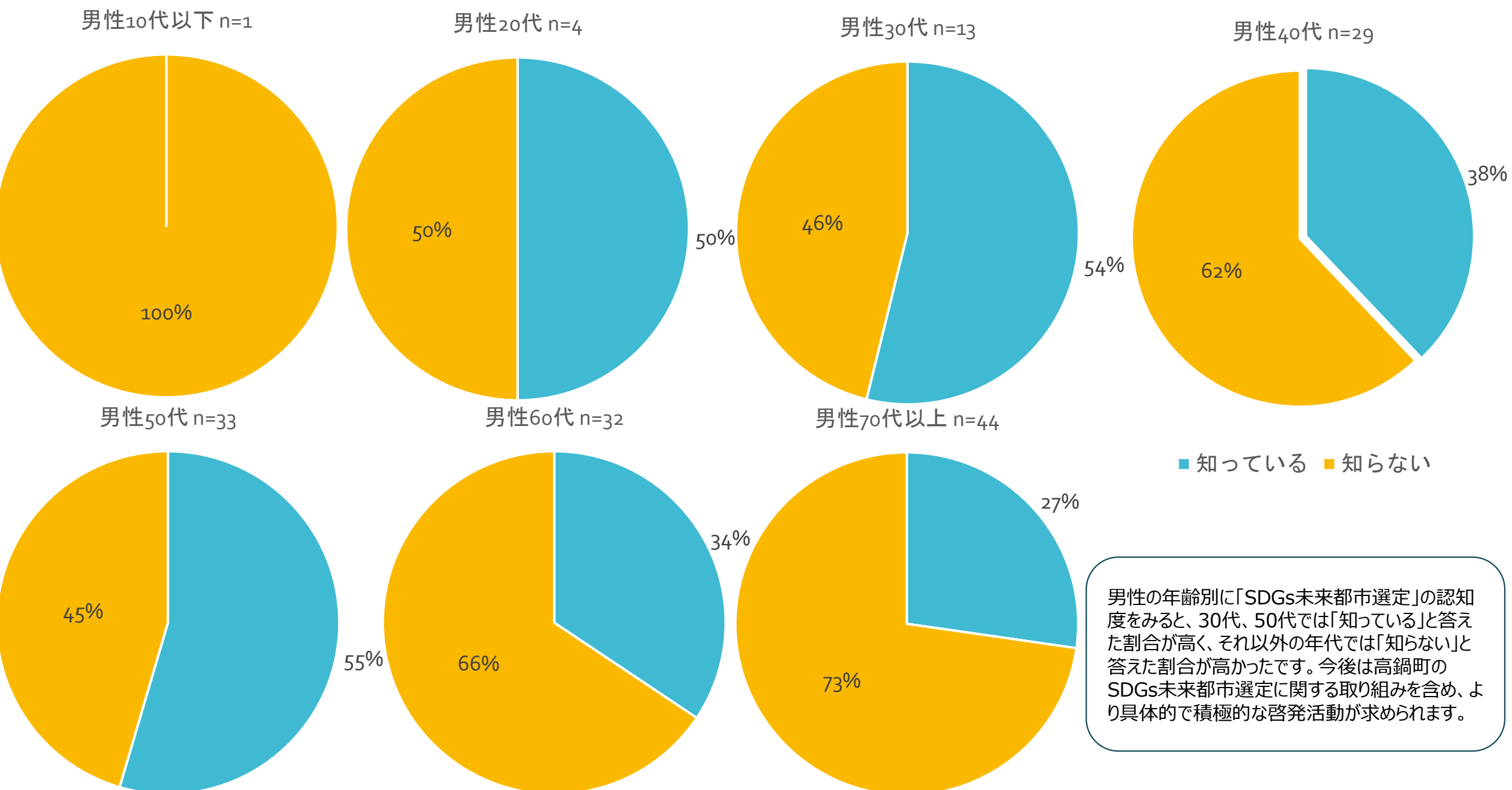


Q4.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことを知っていますか。【全体集計結果】

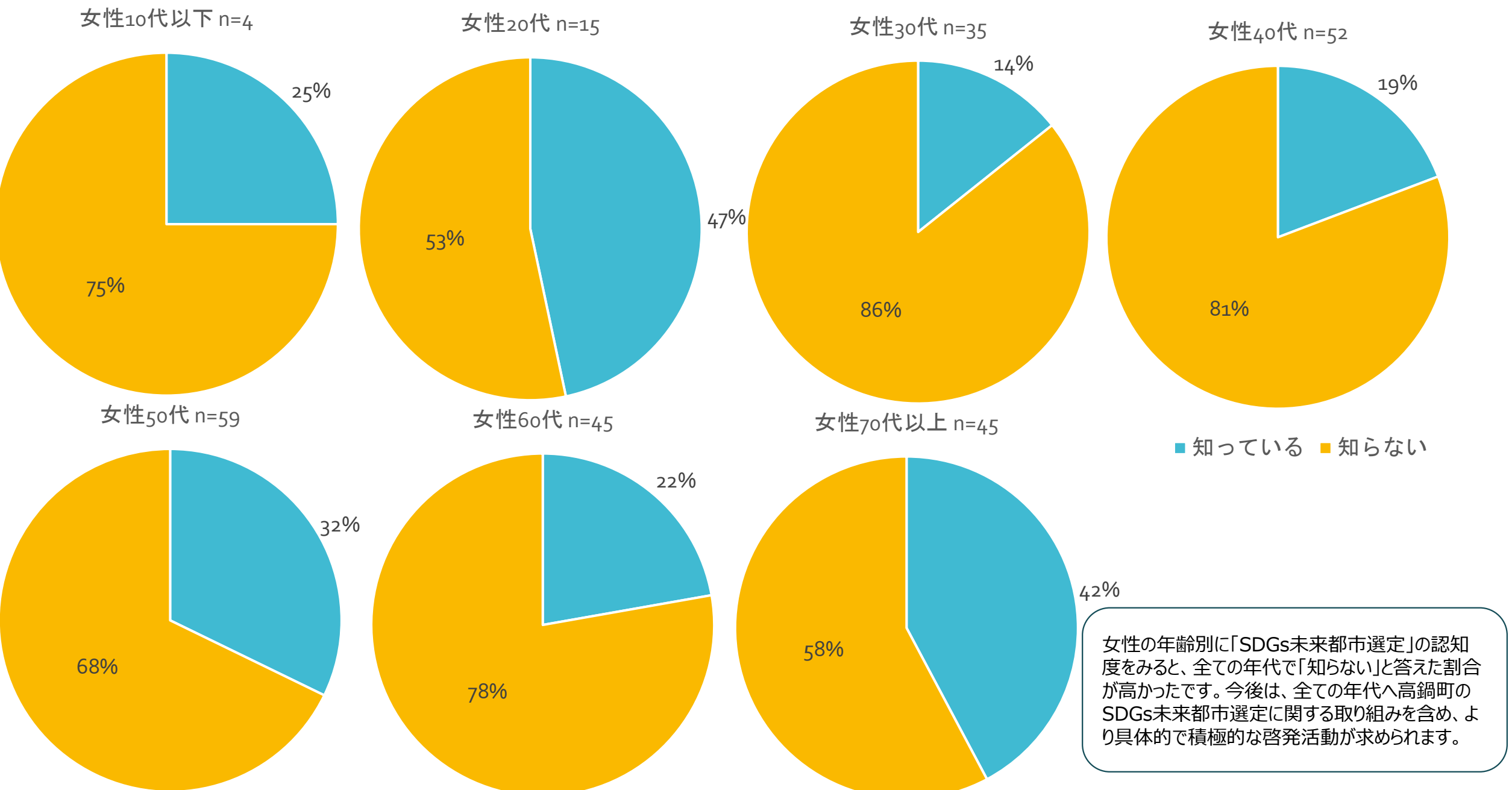


全体、男性全体、女性全体、そして回答しない全体の結果において、「高鍋町が2025年度SDGs未来都市に選定されたことを知っているか」という質問に対し、最も多かった回答は「知らない」でした。この結果から、高鍋町のSDGs未来都市選定に関する取り組みを含め、今後はより具体的で積極的な啓発活動が求められることが示唆されます。

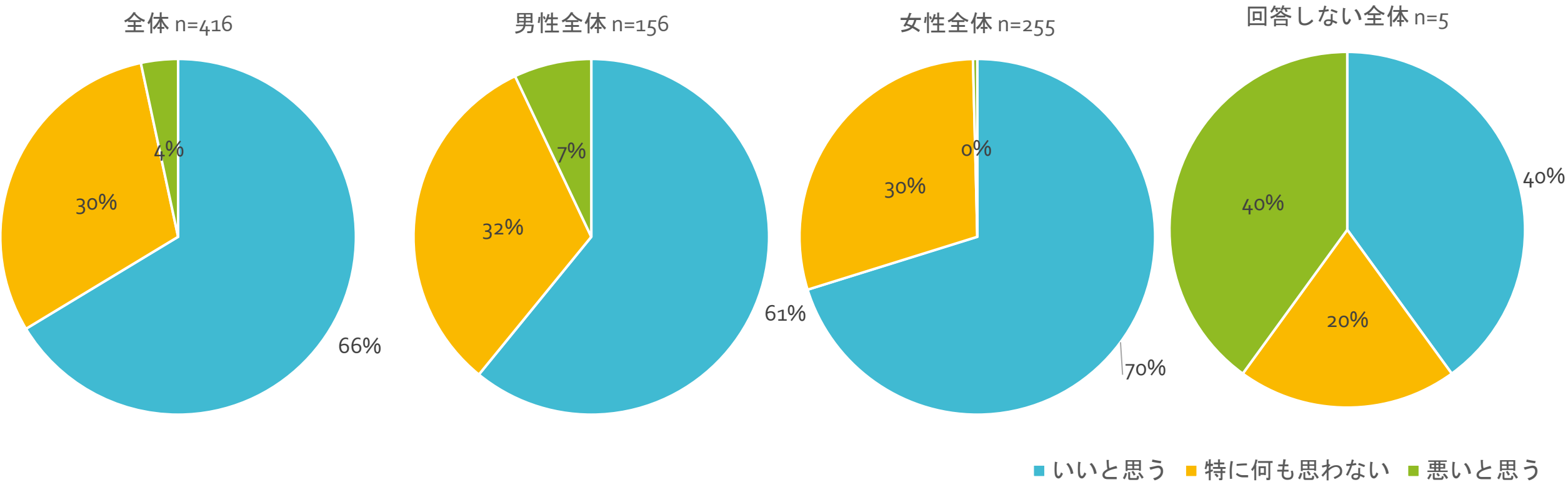
Q4.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことを知っていますか。【男性年齢別集計結果】



Q4.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことを知っていますか。【女性年齢別集計結果】



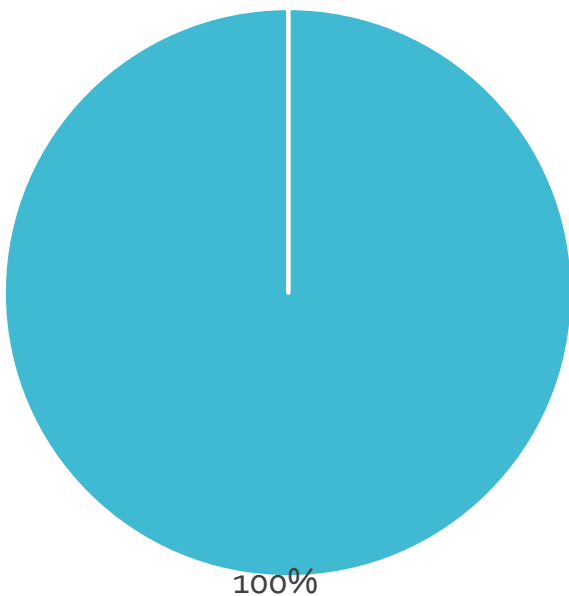
Q5.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことについてどう思いますか。【全体集計結果】



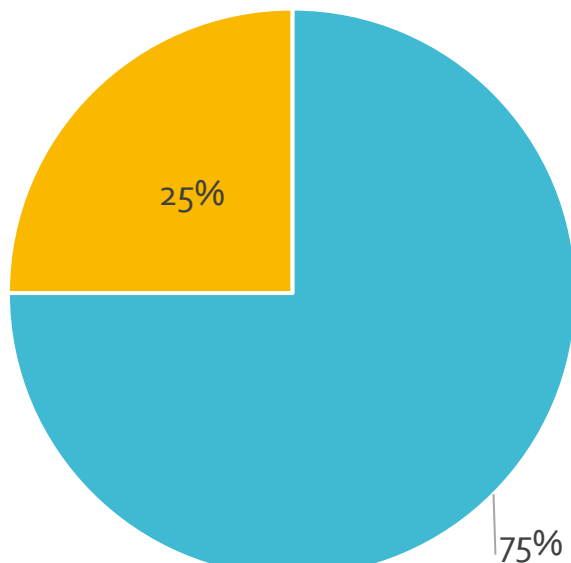
全体、男性全体、女性全体、そして回答しない全体の結果において、最も多かった回答は「いいと思う」でした。このことから、高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことに対して、多くの人が肯定的な評価をしていることがうかがえます。今後は、この期待に応えるために、具体的な取り組みの周知や実践を進めていくことが重要です。

Q5.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことについてどう思いますか。 【男性年齢別集計結果】

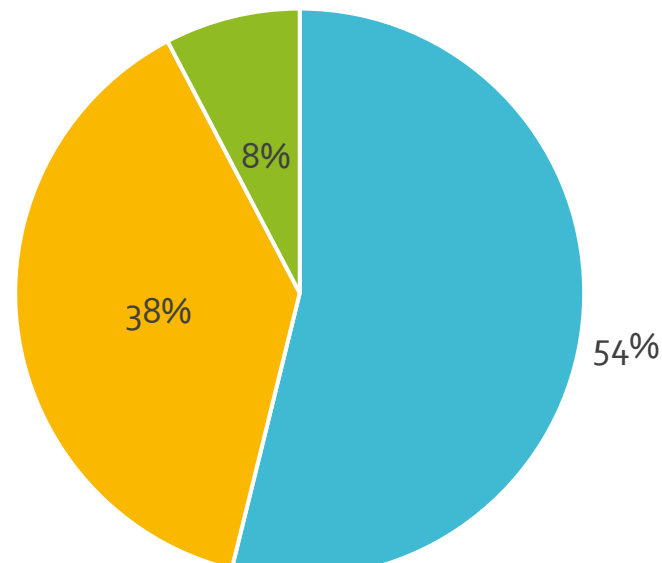
男性10代以下 n=1



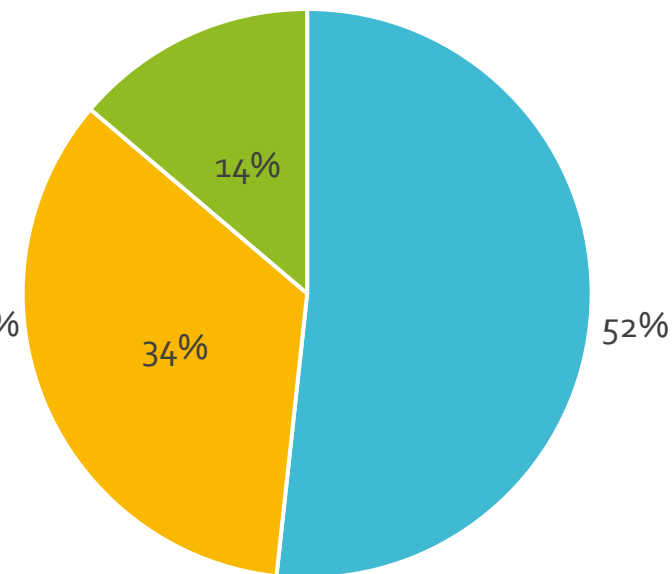
男性20代 n=4



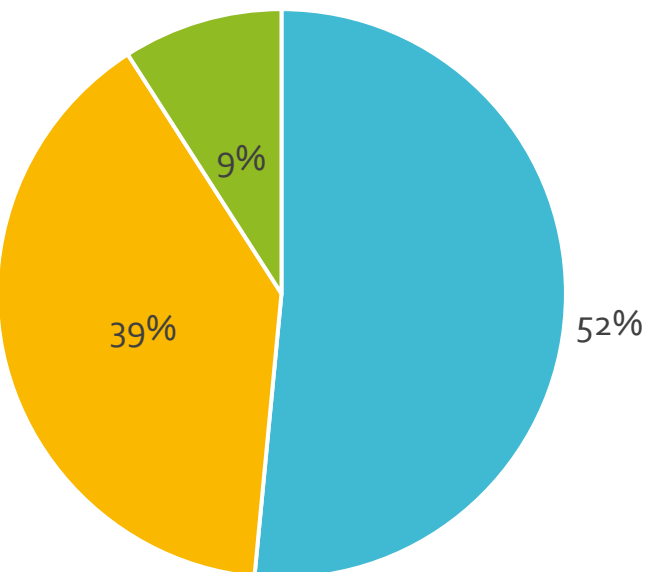
男性30代 n=13



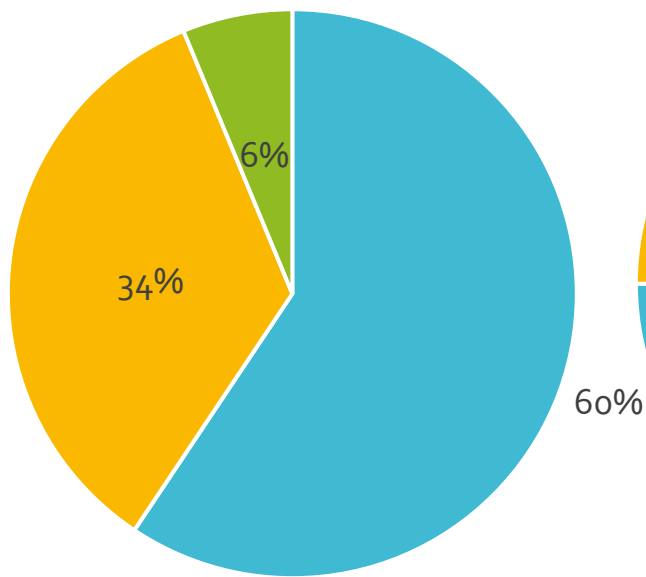
男性40代 n=29



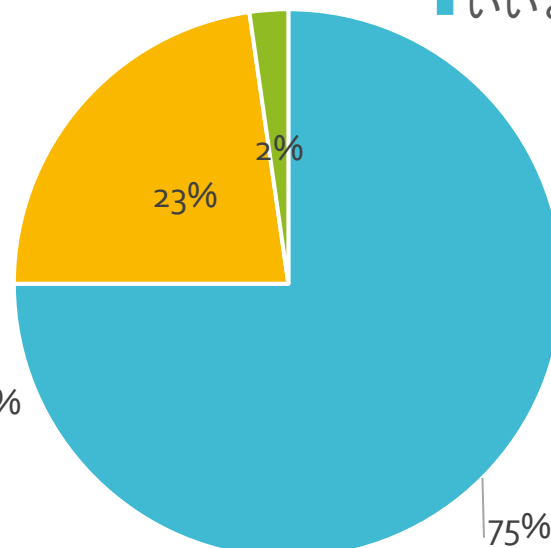
男性50代 n=33



男性60代 n=32



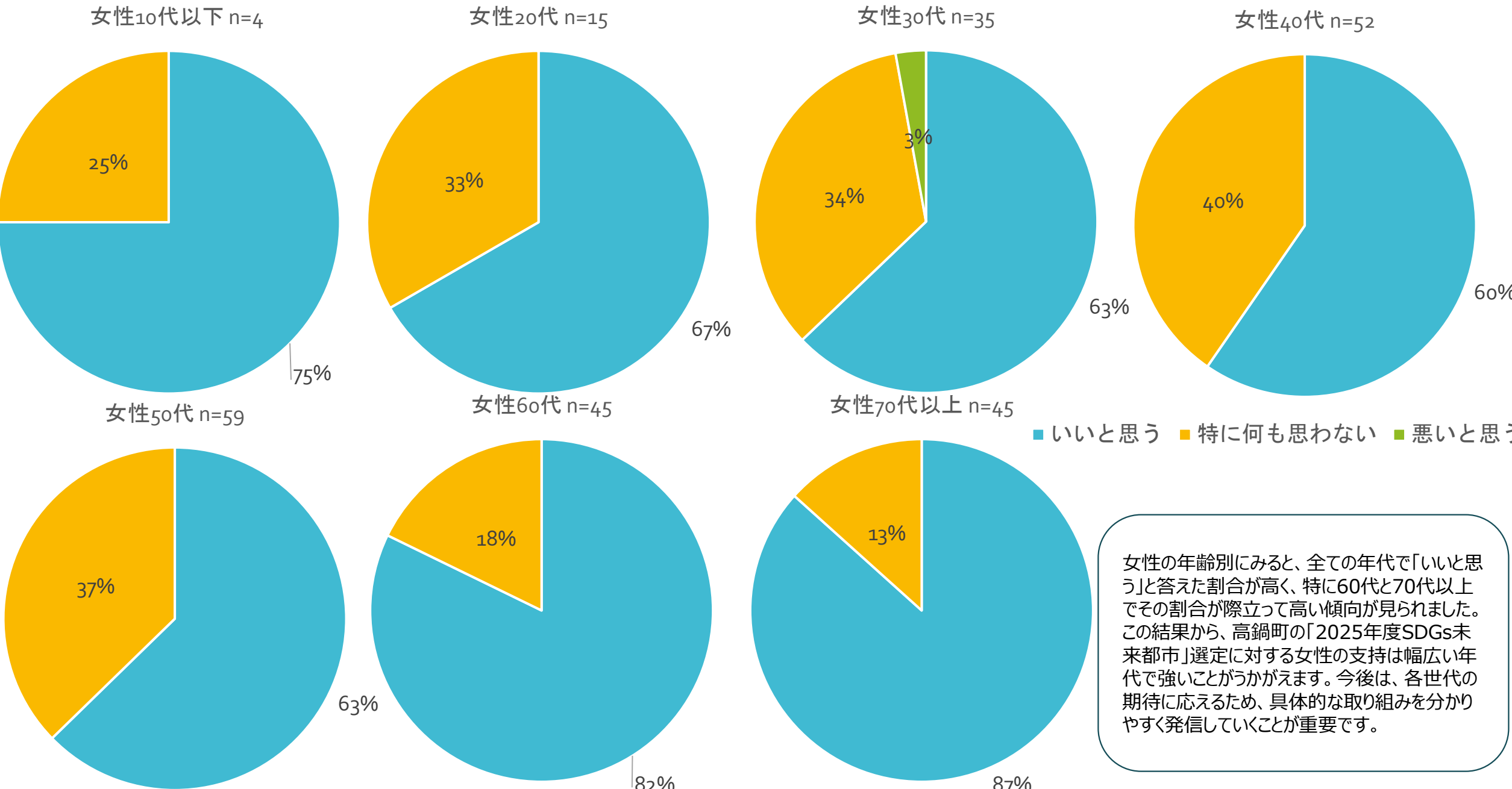
男性70代以上 n=44



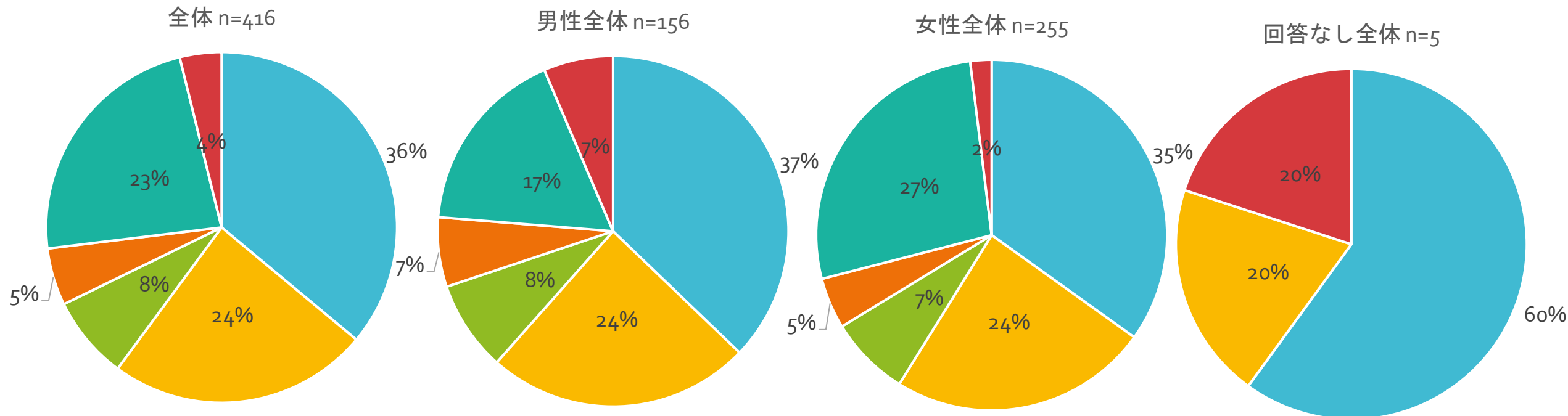
■ いいと思う ■ 特に何も思わない ■ 悪いと思う

男性の年齢別にみると、全ての年代で「いいと思う」と答えた割合が高く、特に20代と70代でその割合が際立って高い傾向が見られました。この結果から、高鍋町の「2025年度SDGs未来都市」選定に対する男性の支持は幅広い年代で強いことがうかがえます。今後は、各世代の期待に応えるため、具体的な取り組みを分かりやすく発信していくことが重要です。

Q5.あなたは高鍋町が「2025年度SDGs未来都市」に選定されたことについてどう思いますか。 【女性年齢別集計結果】



Q6.あなたは高鍋町がSDG s 達成に向けた施策について、特に必要だと思うものは何ですか。【全体集計結果】



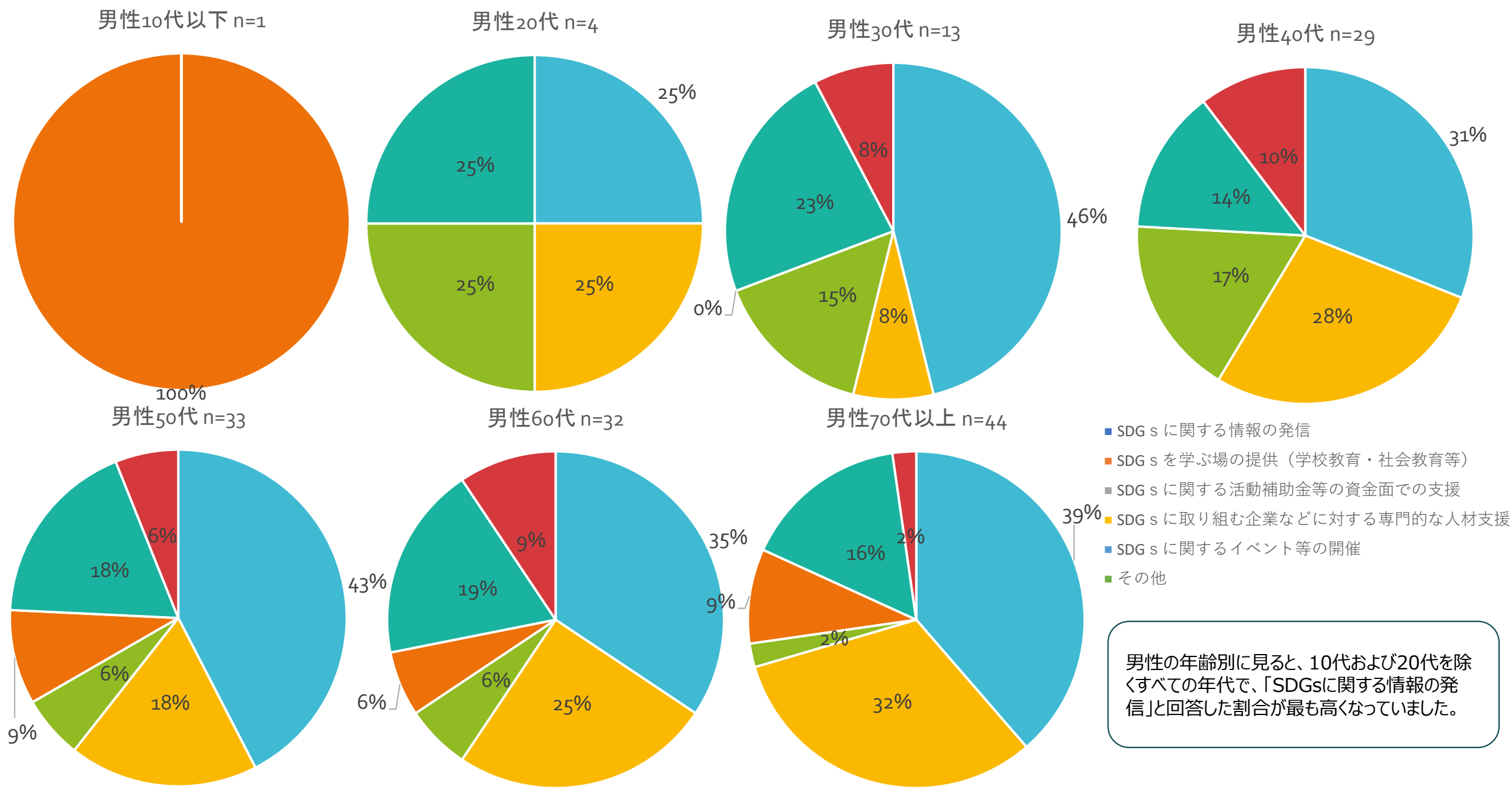
全体、男性全体、女性全体、そして「回答しない」とした層において、最も多かった回答は「SDGsに関する情報の発信」でした。この結果から、性別や回答傾向にかかわらず、多くの人がまずは情報発信が重要と考えていることがわかります。今後は、誰もがアクセスしやすい方法で、わかりやすくSDGsを伝える取り組みが求められます。

- SDG s に関する情報の発信
- SDG s を学ぶ場の提供（学校教育・社会教育等）
- SDG s に関する活動補助金等の資金面での支援
- SDG s に取り組む企業などに対する専門的な人材支援
- SDG s に関するイベント等の開催
- その他

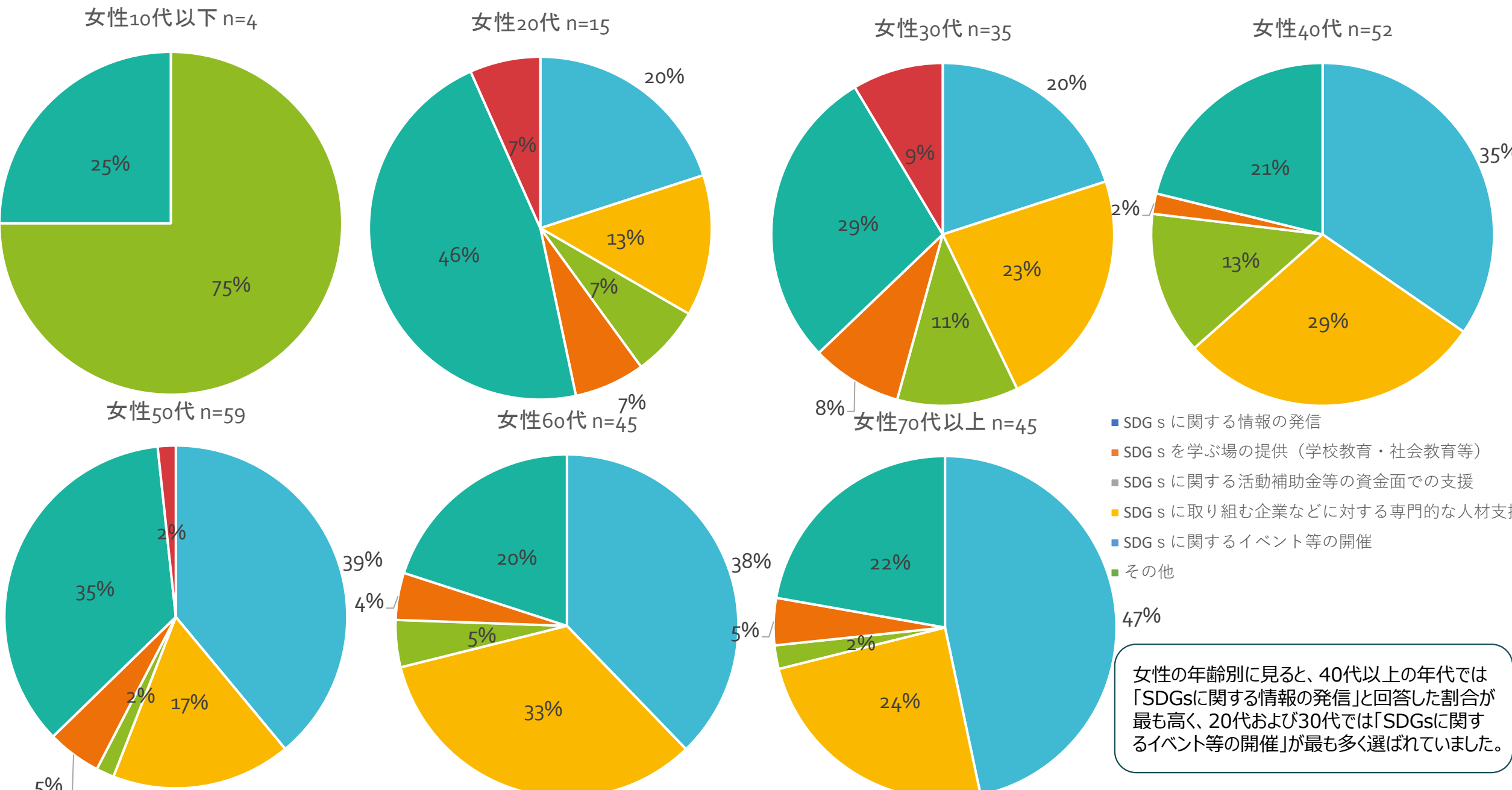
【その他の御意見】

- ・今、生活している町民が助かる制度を作っていく。いま、このような制度があればいいな。という町民の意見を具体的に実現するための施策があれば良いと思う
- ・様々な業務をボランティアや既存の職員で代行せず、業者に金銭を支払って依頼することが巡り巡って高鍋町のSDGs達成に繋がると考えています。以前台風の際、高鍋高校の窓ガラスが割れていた時の対処がネットで問題になっていたのを覚えているからです。
- ・SDGsは、今後衰退していくと思うので、大きく取り組む必要はない。
- ・日本の文化は元々持続可能性が強い文化であり、欧米文化の価値観の押し付けで「やらせられる」ものではない。取り組むのなら、日本の歴史を古代から（特に縄文から江戸時代まで）勉強して、日本らしい、主体性のある取り組みにすべき。日本の文化は元々持続可能性が強い文化であり、欧米文化の価値観の押し付けで「やらせられる」ものではない。取り組むのなら、日本の歴史を古代から（特に縄文から江戸時代まで）勉強して、日本らしい、主体性のある取り組みにすべき。
- ・町民に周知し、山や休閑地を無駄なく利用できるシステムが必要だと思う。太陽光発電除く。

Q6.あなたは高鍋町がSDG s 達成に向けた施策について、特に必要だと思うものは何ですか。 【男性年齢別集計結果】



Q6.あなたは高鍋町がSDG s 達成に向けた施策について、特に必要だと思うものは何ですか。 【女性年齢別集計結果】



Q7.その他、SDGsに関するご意見等がございましたら、お聞かせください。

- ・ 普段の生活を送っている中で出来るような、小さな事柄について、普段からもっと沢山、色々な方法で発信して意識付けする事が大切と思う。
- ・ 佐土原高校がSDGsに関するアプリを開発し、表彰されています。こういったものの周知をしたら学生の意識も変わるのではないかと思います。
- ・ まずはSDGsとは何か、気軽に学べるイベントから行い、少しずつ内容をよくしていくといいと思う。凝り固まった大人を変えるよりも子供を巻き込んで、子供たちと一緒に頑張る体制にしていくと、学校や地域を巻き込んでできると思う。
- ・ SDGsの取り組みを行っているボランティア等に補助金等交付してもよいのではないのでしょうか?!
- ・ この取り組みは、外向けの見栄えや“きれいごと”ばかりが先行しているように見えます。住民にとって本当に必要なのはPRではなく、生活基盤や福祉、医療、子育てといった実効性のある施策への投資です。認定のためのアピールにお金を使う余裕があるなら、まずそこを改善すべきです。
- ・ 言葉は聞いた事はあるが、実践している人は少ないのではないだろうか？ 町が取り組む未来都市というのが今いち良くわからないので、広く周知して町民も行動を起こせるイベントがあると良いと思います。別件ですが、高鍋町いろいろな企業と協定を結んでいるが、それが町民の生活や暮らしに良い方に直結しているのかが謎である。目に見えて暮らしが良くなっているのか、示してもらいたい。
- ・ 学校教育，社会教育などでも、実践のワークショップなどあるとよい。
- ・ SDGsは流行りで少しずつ廃れていくと思う。
- ・ SDGsに「貧困をなくそう」の項目がありますが、その為に「やりがい」ではなく金銭という対価を払って雇用すべきだと思います。特に学校教員・PTAは勿論、公務員の負担が過剰になっているので、専門業者に依頼して負担をなくして雇用を増やすべきだと思います。
- ・ 町職員(臨時含めて)の中で、教育保育機関に出向いてSDGsをアピールしてくれる人を育成や募集などするといったのでは。
- ・ 住民の取り組みに対する資金面での援助を充実させてほしいです
- ・ 過去現在未来を見据えた施策であって欲しい。
- ・ 即刻辞めた方が良い！ 恥ずかしい！ 馬鹿げた取組としか言いようがない。
- ・ 教える先生方もしっかり知識を習得して子供たちに教えて欲しいし、先生方も日常的に実行して欲しい
- ・ 町の現況を分析する必要があると思う。現況を把握して未来方向を計画するべきだと思う。
- ・ SDGsの意図するすべての事柄が、高邁で素晴らしいながら、ハードルの高さも感じる。まずは、高鍋町の強み、歴史と文教の持つ力を再認識・浸透させ、そこからSDGsの思想に沿った部分を強化させ、啓蒙していく姿勢が、SDGs都市の本格的実現へのステップと考える。

- ・ なにかをやろうとするとハードルが高くなる気がするので、いつも何気なくやっているようなことが実はSDGsに繋がっているんだと知れるような事例を学ぶ機会を増やしていただきたく思います。
- ・ お金のかからないSDGsに取り組んで欲しい。焼酎粕とか干し草、鶏糞、牛糞の無料配布とか、そしてそれを使用した野菜の直売所を作って欲しい。綾町が一坪農業で有機農業を広めたような、農家だけでなく誰でも売買できる地産地消、気候に恵まれているから力を入れたら町民が地元の野菜で元気になれるのではないのでしょうか？町営の直売所、町営の温泉は無理なのではないのでしょうか？狭い小さな町だからコツコツ無理なく、進めてほしい
- ・ 私も、もったいない精神で生活してます。高鍋は歴史の町です。黒水亭では昔から常に物を大切にした生活をしていました。そこでイベントをされたらいいと思いますよ～。
- ・ 例えば、保育園や小学校PTAが活動している事の一部分はシルバー人材センターに業務委託できる。（共働き世帯が多いため、保護者は就業者を理由に活動に参加し辛い。シルバー人材センターへ業務委託することで、高齢者には収入が入り、活動をして貰うことで子供達の見守りにも繋がる可能性がある。保育園周囲の草刈りなど）
- ・ 目先の利益のため、流行りに乗ったSDGsなんて要らない。それよりも学校のエアコンを新しくした方が、災害対策にもなり、省エネにも繋がる。よっぽどそちらの方がSDGsだと思う。
- ・ 町民への発信が少ないと感じます、役場の存在感をアップして街をあげて、学校を巻き込むなどして取り組んでほしい。
- ・ 資源ゴミをもっときめ細かく選別して、燃えるゴミを減らして欲しいです。紙類は燃やさない。生ゴミは堆肥に。プラスチック類も細かく分別すれば、資源になります。
- ・ 町は具体的に何をしてゆく予定ですか？
- ・ 今の地域環境を維持することも大切だが、高鍋町自体を維持していくことも、大切だと考える。人口が減少していくのだから、新しい住み良い環境、自然、社会環境などを新しく構築していくのも大切だと思う。今までの良いところは残しつつ、未来に繋がれるように改善も必要だと考える。保守的になりすぎないように、程よく未来に維持しながら...新しいことにも、挑戦し続けていただきたいです。
- ・ 現段階では子供たちにSDGsを学ばせることより、大人が周りの企業などと協力し着実なやり方を考えすぐさま実施することが重要だと思います
- ・ SDGsはグローバリズムの先兵では？
- ・ そもそも何がしたいのかわからない。住民はそんなの求めている。もっと足下を見てほしい。SDGs宣言をするなら竹鳩橋より学校整備が先。
- ・ SDGsは人育てが大切だと思いますし、地味で継続的な活動がベースだと思います。一時のパフォーマンス的なものにはしたくないです。
- ・ 目新しいことも大事だけど未だ未だやり残している事が沢山あるのでは？

- ・一部の関係者だけではなく、町が一体となって意識を高めていくことに期待しています。結果として、町民一人ひとりが身近なことから取り組めることが大切だと思います。
- ・ゴミ袋の種類は多いが実際プラゴミの選別がされていない様に思う
- ・町民に対して分かりやすい説明をお願いします
- ・まずSDGsが何かを町民に理解してもらうのが先だと思います
- ・このアンケートの前にSDGsの説明と、高鍋町が目指すSDGs未来都市の構想を説明すべきではないでしょうか？そもそも誰が、何のために、高鍋町をSDGs未来都市に選定されることを望んだのですか？